閉じる　　印刷

授業科目名	科目区分	
日本経済史特殊講義		
	時間割コード	
講義題目	930210	
Topics in Economic History of Japan	年度	時間割
	2013	後期 未定
担当教員	単位数	教室
山本　裕[Yamamoto Yu]	2	
	対象年次及び学科	
	1～2 経済学研究科	

関連授業科目

経済史特殊講義

履修推奨科目

経済史特殊講義

学習時間

講義90分　×　15回　＋　自学自習

授業の概要

日本経済史に関する入門的概説書の個別の各章を輪読した上で、他の、やや水準の高い概説書の該当章を併せて輪読する。
複数の概説書における叙述から、今日における日本経済史研究の現状が、概説書という形態で如何に共有されているかを確認する。
確認した上で、今後の研究の方向性を認識していくための議論を行っていく。

授業の目的

近年、複数の日本経済史に関する概説書が刊行されている状況にある。
これら概説書は、主に大学教育で用いられることを想定して刊行されているが、同じ時期について扱っている個別の章を見比べれば、そこには、叙述の差異が存在することに気付かされる。
何故、叙述の差異が生じるのであろうか。その理由は、当然、観点の相違、アプローチの相違が存在する点に求められる。
本講義の目的は、複数の日本経済史に関する概説書を読解し、比較検討することを通じて、概説という形態において多くの読者に共有されることを目論んで示された日本経済史研究の現状を、把握・確認する点にある。
本講義の受講を通じて、今後の日本経済史研究の方向性が如何なるものとなるのかを認識する必要性が発生し、方向性について議論する理由があらわれる。

到達目標

1)日本経済史に関する入門的概説書において叙述された知見を身に付ける。
2)日本経済史に関する複数の概説書において展開された同時期の叙述における相違点を理解し、相違点が発生する理由となる異なる観点・アプローチを説明できる。

3)日本経済史研究の現状か、概説書という形態で如何に共有されているかを説明できる。
4)日本経済史研究に関する今後の方向性について、一定の水準で議論することができる。

成績評価の方法と基準

毎回の講義への参加状況(リポーターとしての報告と、毎回の議論への参加)と、講義の最後に提出してもらうレポートから、総合的観点に立って成績をつける。

授業計画並びに授業及び学習の方法

以上の講義計画を予定しているが、輪読を通じて提出された論点に関する議論が白熱するなどした場合には、計画通り進まなくなる可能性がある。
第1回:ガイダンス
第2回～第3回:『改訂新版 日本経済史』の任意の一章と、同章と同時期を扱った別の概説書の内容に関する輪読。両者の叙述の相違に関する質疑応答(その1)
第4回～第5回:『改訂新版 日本経済史』の任意の一章と、同章と同時期を扱った別の概説書の内容に関する輪読。両者の叙述の相違に関する質疑応答(その2)
第6回～第7回:『改訂新版 日本経済史』の任意の一章と、同章と同時期を扱った別の概説書の内容に関する輪読。両者の叙述の相違に関する質疑応答(その3)
第8回～第9回:『改訂新版 日本経済史』の任意の一章と、同章と同時期を扱った別の概説書の内容に関する輪読。両者の叙述の相違に関する質疑応答(その4)
第10回～第11回:『改訂新版 日本経済史』の任意の一章と、同章と同時期を扱った別の概説書の内容に関する輪読。両者の叙述の相違に関する質疑応答(その5)
第12回～第13回:『改訂新版 日本経済史』の任意の一章と、同章と同時期を扱った別の概説書の内容に関する輪読。両者の叙述の相違に関する質疑応答(その6)
第14回:日本経済史研究の現状と課題、今後の方向性に関する質疑応答
第15回:講義の小括

毎回の講義においては、リポーターはレジュメを用意して、任意の一章等について報告し、他の受講者は事前に輪読箇所を読解した上で論点を用意しておく。

教科書・参考書等

【教科書】
・宮本又郎編『改訂新版 日本経済史』(放送大学教育振興会、2012年、2700円+TAX)
上記書籍は、受講者があらかじめ購入すること。
【参考書】
・浜野潔他編『日本経済史 1600-2000』(慶應義塾大学出版会、2009年、2800円＋TAX)
・杉山伸也『日本経済史 近世―現代』(岩波書店、2012年、3800円＋TAX)
・三和良一『概説日本経済史 第3版』(東京大学出版会、2012年、2500円＋TAX)
・石井寛治・原朗・武田晴人編『日本経済史』全6巻(東京大学出版会、2000-2010年)
ただし、上記参考文献所収論文を輪読する場合は、文献は講義担当者が用意する。

オフィスアワー

水曜日4時限・5時限。なお、事前にメールで連絡があれば、別途対応する。担当者のメールアドレスは以下の通り。
yamamoto@ec.kagawa-u.ac.jp

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

積極的な受講態度を望みます。無断欠席は厳禁とします。事情があって欠席する場合は、事前に連絡をお願いします。

参照ホームページ

メールアドレス

yamamoto@ec.kagawa-u.ac.jp